

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 19日

事業所名 運動学習支援教室 そら・ふね 富田 保護者等数(児童数) 10 回収数 6 割合 60 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%	十分に体を動かすことが出来ている	今後も更に使いやすいスペース作りを行ってまいります
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	0%	0%	33%	個人活動のスペース、集団活動のスペースがしっかり区切られている	個人のスペースも大切にまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%	不要なものが置かれておらずスッキリしている	活動の妨げや注意が逸れる原因にならないように継続します
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%	課題を明確にしている	客観的に分析してまいります
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%	特に力を入れて活動するところと取り組みが明確	計画に基づいて活動いたします
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	83%	17%	0%	0%	毎回異なった課題に取り組んでいる	固定化したほうが良いか、異なるほうが良いか児童ごとに考察してまいります
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	33%	0%	17%	50%	現時点では交流活動は把握していない	ご要望に応じて取り組んでまいります
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	67%	0%	0%	33%	連絡ノートにコメントをいただき、状況を共有している	今後も力を入れてまいります
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	連絡ノートにコメントをいただき、状況を共有している	今後も共有いたします
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%	連絡ノートにコメントをいただき、状況を共有している	今後も共有いたします
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	17%	17%	33%	33%	現時点では保護者間の交流について案内はない	今後要望に応じて実施いたします
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	83%	0%	0%	17%	申し入れをしたことがないので分からない	窓口を整えておりますので、何でもご相談ください

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	67%	0%	0%	33%	連絡ノート、毎回のイベントの様子を発信している	毎月お便りを配布しております。今後も継続してまいります
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	50%	0%	0%	50%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	17%	0%	17%	67%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%		
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	身体を動かす機会が設けられており満足	今後ご満足いただけるように努力いたします

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 19日

事業所名 運動学習支援教室 そら・ふね 富田 保護者等数(児童数) 33 回収数 18 割合 54.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	67%	33%	0%	0%	低学年の子が大きくなった際はもう少しあれば良い	スペースの利用方法を検討してまいります
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	78%	22%	0%	0%	職員の退職の報告が遅く、感謝を伝えられない	可能な限りお伝えいたします
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	56%	44%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%	とてもよく見て考えている、家庭ではできないことも無理なくできるようにになっている	お客様のペースに合わせて、出来ることが増えるように計画してまいります
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	83%	6%	11%	0%	いつも同じ事をやってつまらないと言うことがあった	同じ事を楽しく取り組めるように工夫してまいります
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28%	44%	28%	0%	分かりません	要望に応じて検討してまいります
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	94%	6%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	同じ目標に向かい育てられている	今後も継続してまいります
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17%	56%	28%	0%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	94%	6%	0%	0%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	6%	0%	0%	LINEで連絡が取れるので助かる	繋がりがやすいよう継続してまいります
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	94%	6%	0%	0%		
14 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	67%	33%	0%	0%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	44%	56%	0%	0%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	89%	6%	6%	0%	イベントを楽しみにしている	今後も楽しいイベントを実施してまいります
	18 事業所の支援に満足しているか	94%	0%	6%	0%	たくさんの経験、体験をさせてもらい感謝している	満足いただける支援を実施してまいります

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

**児童発達支援
事業所における自己評価結果(公表)**

公表: 令和 6年 3月 19日

事業所名 運動学習支援教室 そら・ふね 富田

人数	特 にな	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	人数に合わせて個室を開放している	特になし
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基準を守っている	特になし
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	玄関入り口のスロープ設置バリアフリーが必要になった際に設置を検討する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	適切にしている	特になし
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	児童の支援で行なっている	話し合った内容を記載しているが、いつでも見られるような保管方法にする
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	イベント開催の手がかりにしている	これから業務改善をしていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	適切にしている	特になし
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	17%	83%		偏らないよう複数の第三者を設定する
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に支援方法の研修をしている	外部講師を招いて新しい知見を得る
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	適切に行なっている	特になし
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	必要に応じて使用するかを話し合っている	外部からの情報を使用しているため、内部でツールを使用しアセスメントしていく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	適切に行なっている	特になし
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	適切に行なっている	特になし
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	必ず話し合いを行う	特になし
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	リーダー職員が考案し共有している	特になし
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%	適切に組み合わせている	特になし

人数	特になし	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	リスクマネジメントも含めて話し合う	特になし
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	ヒヤリハット、支援内容を必ず話し合う	特になし
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録を用いて支援を検証している	特になし
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	期限内に必ず行なっている	特になし
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	必ず精通者が参加している	特になし
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	83%	17%	必要に応じて適切に行なっている	特になし
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	17%	83%		受け入れない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	17%	83%		受け入れない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	必要に応じて適切に行なっている	特になし
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	必要に応じて適切に行なっている	特になし
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%	必要に応じて適切に行なっている	特になし
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		要望があれば検討する
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	積極的に参加している	特になし
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡ノートや直接共有している	特になし
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	83%	17%	相談加算等で相談援助を行なっている	今後拡充していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	17%	契約時に丁寧に行っている	特になし
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	適切に行なっている	特になし

人数	特になし	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談内容に応じて助言、支援を行う	特になし
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	67%	33%	何度か開催した	定期的な実施を検討する
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	適切に対応している	特になし
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月お便りを発行している特になし	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	十分注意している特になし	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	83%	17%	視覚支援等を用いる	特になし
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		要望があれば検討する
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	83%	17%	策定、周知している	特になし
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	67%	33%	定期的に行っている	計画通りに実施していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	83%	17%	適切に対応している	特になし
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%	食物アレルギーがない	特になし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎日している	特になし
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的実施している	特になし
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	67%	33%	事例がない	特になし

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス
事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 19日

事業所名 運動学習支援教室 そら・ふね 富田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	67%	33%	人数に合わせて個室を開放している	特になし
	2	職員の配置数は適切である	67%	33%	基準を守っている	特になし
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	玄関入り口のスロープ設置	バリアフリーが必要になった際に設置を検討する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	児童の支援で行なっている	話し合った内容を記載しているが、いつでも見られるような保管方法にする
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	33%	67%	イベント開催の手がかりにしている	これから業務改善をしていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	適切にしている	特になし
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		偏らないよう複数の第三者を設定する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	83%	17%	定期的に支援方法の研修をしている	外部講師を招いて新しい知見を得る
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	適切に行なっている	特になし
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	33%	67%	必要に応じて使用するかを話し合っている	外部からの情報を使用しているため、内部でツールを使用しアセスメントしていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	33%	必ず話し合いを行う	特になし
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%	リーダー職員が考案し共有している	特になし
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	33%	67%	利用時間で設定している	可能な限り細かに設定する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%	必要に応じて適宜組み合わせている	特になし
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	リスクマネジメントも含めて話し合う	特になし
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	ヒヤリハット、支援内容を必ず話し合う	特になし
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録を用いて支援を検証している	特になし
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	期限内に必ず行なっている	特になし
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	67%	33%	2~4組み合わせている	特になし	

関係機関 関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	必ず精通者が参加している	特になし
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	83%	17%	必要に応じて適切に行なっている	特になし
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		受け入れない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	電話や文書でやりとりを行なっている	時期により行えない場合があるため、雛形を作成し記入してもらう
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		これまでに事例がない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	研修会に積極的に参加している	機会があまりないので、機会があれば参加する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		要望があれば検討する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	積極的に参加している	特になし
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	83%	17%	連絡ノートや直接共有している	特になし
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	相談加算等で相談援助を行なっている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に丁寧にしている	特になし
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談内容に応じて助言、支援を行う	特になし
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	33%	67%	何度か開催した	定期的な実施を検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	適切に対応している	特になし
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月お便りを発行している	特になし
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	十分注意している	特になし
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	配慮している	特になし
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	83%		要望があれば検討する

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	67%	33%	策定、周知している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%	定期的に行っている	計画通りに実施していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的を実施している	特になし
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	67%	33%	事例がない	特になし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	食物アレルギーがない	特になし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎日している	特になし